

東日本大震災の被災者救援のための訴え

東日本大震災の被害は、未曾有の規模で広がり、沈痛な思いで、その深刻さを受け止めています。今、私たちは心を一つにして、その救援と復興に全力を傾けるべきです。

健和看護学院として、教職員、学生が一丸となって、被災者の皆さんのいのちと健康をまもるために、持続的な支援をすることを表明し、具体的な活動を提起し、実行していくことを決意いたします。

全日本民主医療機関連合会は、すでに現地入りし、医療支援を始め全面的な支援体制をとっています。健和会としても支援体制をとり具体的な活動をしています。健和看護学院は、これら上部団体からの支援要請に応じていくとともに、学院としてできる支援、施策を実施していきます。

- 当面できることは、資金援助（カンパ）です。学院全構成員の資金援助へのご協力をお願いします。また、広く市民の皆さんへの支援募金活動を持続的に実施していきます。
- 時宜に応じて、生活物資支援やボランティア活動への参加を募ります。
- 各自の自主的な節電生活を求めるとともに、学院として、看護教育に支障のない限り、具体的な節電施策を実施します。
- 全国の支援活動から学び、連帯して、被災地の完全復興にむけて持続的な活動をしていきます。

自然の猛威に対して、個人の非力を感じざるをえないけれど、「あきらめない看護」をめざす私たちは、いてもたってもいられない気持ちを共有しています。被災者の皆さんへのできる限りの支援を、心を一つにして実施していこうではありませんか。

2011年3月15日（火）

健和看護学院学院長
三輪俊和